

# 令和6年度 東京都立日野高等学校 学校経営報告

東京都立日野高等学校長  
高 取 克 明

## 今年度の取組目標及び成果と課題

### 1 「学習指導」

- (1) 文部科学省D Xハイスクール推進事業及び新教育課程の整備、観点別評価の研究
- (2) 大学入試改革対応策としての土曜日活用と各種検定等積極的な指導推進
- (3) 新学習指導要領及び探究的な学びの整備に向けた校内研修の実施
- (4) 理地域自然環境教育の効果的な実践

(成果)

生徒がデジタル環境を効果的に活用した学びや、学習履歴等のデータ分析・利活用、先端技術の活用に関する実践的な研究を実施して効率的な学習が進められるよう、各教科単位で端末の活用方法について研究を行うとともに、観点別評価についても研究を深めた。

(課題)

教員相互の授業参観、計画的な教科ごとの研修及び学校全体での校内研修を実施し、評価方法を見直し、探究学習やD Xを活用した指導法の工夫、改善に取り組む。

### 2 「進路指導」

- (1) 補習・補講の実施
- (2) 組織的、系統的な進路指導
- (3) 探究活動と情報科の授業を活かした大学入試改革への対応
- (4) 高い目標への挑戦意欲の育成
- (5) 保護者との情報の共有
- (6) 体験的学習と進路講話

(成果)

各学年が主体となり、地域校外施設なども活用し、平日や土曜活用日、長期休業期間中の進路対策や学習が遅れがちな生徒を対象にした補習・補講を組織的・計画的に実施した。

生徒が適切な進路選択が行えるよう体験的学習（上級学校訪問や大学等の体験授業、職場体験等）や大学教員や学生、企業等の講師による進路講話等を積極的に活用する。

(課題)

生徒のみならず、保護者への十分な情報提供を行い、三者面談や個人面談、進路に関する説明会、講演会を充実させ、希望進路実現に向けた進路指導を推進する。

### 3 「生活指導」

- (1) 交通安全教育の徹底、ルールやマナー及び情報モラルを遵守する指導
- (2) 身だしなみの指導
- (3) 遅刻防止及び盗難防止指導
- (4) いじめや自殺防止の対応

(成果)

本校の生徒指導方針に基づき、指導内容の共通理解を図り、授業や集会等あらゆる場面で時間と安全を意識した行動を徹底させ、授業や集会における規律、ルールやマナーを遵守する指導を組織的に行った。また、命にかかわる交通安全に関心を持たせ、自転車ヘルメットの着用をあらゆる機会積極的に使用するような指導の工夫を行った。家庭とも連携して携帯電話や一人1台端末を適切に使用するための情報モラルの育成をより図った。

教員、保護者、生徒向けの研修や生徒総合支援機能を充実させ、体罰、性暴力、不適切指導の禁止、いじめの未然防止・早期対応や自殺防止に関する情報の共有を組織的に図ると共に、アンケートやS C相談等を活用し早期発見に努めた。

(課題)

本校の生徒指導方針に基づき、指導内容の共通理解を図り、社会規範やマナーを育てるために、遅刻指導や身だしなみ指導、自転車乗車時のヘルメット着用等の安全指導の徹底を図ることを継続して行う。

#### 4 「特別活動・部活動」

(1) 特別活動の充実 (2) 部活動の充実 (3) 近隣関係学校との交流

(成果)

ガイドラインに明確に基づいた部活動を推進した。部活動への生徒加入を奨励し、「Sport-Science Promotion Club」推進校としての自覚ある活動を促し、文化部活動の意欲的な推進を目指す取組を基盤として、運動部・文化部共に全国大会を目指し、活動の充実を図った。その成果を部活動発表会で中学生、地域等に積極的に発信した。

(課題)

生徒の主体的な活動を支援し、体育祭、文化祭、合唱祭の学校行事や修学旅行等の学年行事、生徒会活動、委員会活動を充実させる。また、部活動ガイドラインに則した活動指針を明示し、生徒・保護者に理解を求める等の十分な相互理解に基づいた部活動を推進する。

#### 5 「体力向上と健康づくり」

(1) 体力テストを活用した体力向上 (2) 健康・安全に留意した実践的な態度の育成  
(3) 校校内美化・清掃の徹底

(成果)

地域合同防災訓練や安全教育推進校2年目として避難訓練の効果的な実践指導計画や心身の健康に関わる健康講話、交通安全教室の実施により、生涯に渡って主体的に健康・安全に留意した生活習慣を身に付けさせた。また、自転車の通学時のヘルメット着用等命にかかわる安全を最優先に考えることができるよう指導及び取組み体制を強化した。

(課題)

生徒総合支援を組織的に推進し、全教職員で生徒を見守る体制を構築する。

体育的行事を利用するとともに授業内での補助的なトレーニングや部活動で体力を高める取組を進める。また健康講話や安全講習会の実施により生徒の健康に対する意識を高めることを継続して行う。

#### 6 「広報・募集活動」

(1) 新設学校ホームページと日野高ニュース、X (旧公式Twitter) とSNSの活用  
(2) 本校への志願者を増やす取組

(成果)

新しい学校ホームページの内容を充実させるために、ホームページ内の日野高ニュースやほぼ毎日更新しているX (旧公式Twitter)、SNSの活用により、学習や行事の様子、部活動の成果やお知らせを積極的に情報発信し、学校の魅力や強みをアピールした。

(課題)

中学生の都立離れを意識し、次の新しい都立高校を目指していかなくてはならない。

#### 7 「地域連携」

(1) 地域と連携した探究活動やボランティア、近隣清掃  
(2) 地域行事や関係学校行事への参加

(成果・課題)

天文台の活用を積極的に図ると共に、地域の施設や日野市教育委員会、地域の小・中学校と連携した探究活動を推進した。また、通学路などの近隣の清掃を学期に1回実施し、積極的に地域に奉仕した。近隣の道路でのマナーに関する苦情は多かった。

8 「学校経営・組織体制」

- (1) 服務事故の防止
- (2) 業務縮減及び働き方改革に向けた取組
- (3) 特別支援教育の推進
- (4) 経営企画室、その他

(成果)

委員会等組織の改編・見直しや会議のオンライン・ペーパーレス化等で効率化を図り、業務縮減に向けた取組を推進した。また、自己申告面接等を通して、服務・勤務状況を確認するとともに、15 日以上の有給休暇や男性職員の育休等の取得を進め、メリハリをつけた働き方改革を推進した。

研修・服務届出の徹底や周知、定期券などの確認を行い、服務事故ゼロを目指した。

(課題)

教員のワーク・ライフバランスの実現のために、効率的な業務の推進に努める。

服務の徹底を更に図り、事故ゼロを目指す。